

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	感染症予防対策				シート番号	011-229
担当部署名	健康福祉	局	健康部 保健所	部	感染症対策	課 評価責任者(課長名) 中井

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	平成 11 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(以下、「感染症法」という。)に基づき、肝炎ウイルス検査等の国の感染症対策を始め、感染症による市民への健康被害及び感染症のまん延を防止するため、必要な措置を講じる必要がある。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他( )				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	全市民				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	様々な感染症に対し、その感染力や健康被害への影響を勘案し、疫学調査、入院措置及び就業制限等を行うことで市民の健康を守るとともに、感染の拡大を防止する。また、保育所、学校及び老人福祉施設等に対して、感染症予防の指導啓発等を行うことにより、施設内の集団感染を防止し、脆弱な子どもや高齢者の健康維持を図る。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	・1～5類等の感染症が発生した場合、必要に応じ患者への疫学調査、入院措置、就業制限、接触者の健康観察等を行うことで感染拡大を防止する。 ・ウイルス性肝炎の早期発見のため、各保健センター及び協力医療機関において肝炎ウイルス検査を実施するとともに、陽性者を早期治療につなげるためのフォローアップ事業を実施する。 ・市民および市内集団施設に対し、感染症予防のための知識の普及及び指導を行う。 ・性感染症について、各保健センターや保健所(サンスクエア堺)での検査及び啓発事業を実施する。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他( ) 一般社団法人 堺市医師会ほか					

Ⅲ. 投入量

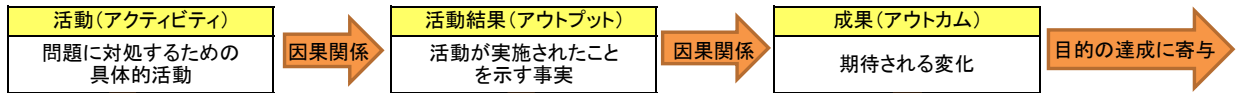
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	47,234	39,779	41,667	42,652	47,435	56,071	45,302	
主な事業費内訳	委託料	千円	44,128	36,862	37,126	39,124	35,312	41,649	41,076
	その他(需用費等)	千円	3,106	2,917	4,541	3,528	12,123	14,422	4,226
		千円							
		千円							
財源内訳	国・府支出金	千円	29,316	19,200	25,158	26,426	28,235	31,816	27,949
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他( )	千円							
一般財源	千円	17,918	20,579	16,509	16,226	19,200	24,255	17,353	
12 人件費 (b)	千円	8,200	8,200	8,200	8,200	8,100	8,100	8,200	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	55,434	47,979	49,867	50,852	55,535	64,171	53,502	

# 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	感染症予防対策	シート番号	011-229
-------	---------	-------	---------

## Ⅳ. 評価(測定・分析)

### ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績							
活動実績と成果	14						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>1~5類感染症の発生時には、必要に応じ疫学調査、入院措置、就業制限を行い、患者や患者の属する集団に対し、感染拡大防止の指導を行った。疫学調査の結果、感染症患者と接触があったと判明した健康観察対象者からの感染拡大はなかった。</li> <li>感染症媒介蚊の調査を市内10カ所で行い、すべて陰性であった。</li> <li>肝炎ウイルス検査の受検者数は、6,302名であった。また、検査の結果陽性であり、精密検査結果通知の報告がない等、その後の早期治療につながっていない可能性がある受検者については、個別に状況確認や受診勧奨を行った。</li> <li>保育所、学校及び老人福祉施設等の集団生活を行う施設より感染症等発生時報告書を計104件受け付け、集団発生が認められる際には感染拡大防止のための知識の普及及び指導を行った。</li> <li>市役所内でも肝炎ウイルス予防、性感染症予防等の展示啓発を行った。</li> <li>市民に対しては、各保健センターにて、月1回性感染症検査相談事業を行い、早期発見・早期治療・情報提供の機会とした。また、2か月毎の夜間HIV検査時に、平成30年度より同時に梅毒検査をできるようにし、計70名の受検があった。</li> </ul>						
	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	15 疫学調査実施率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	
			達成率	100%	100%	100%	
			評価	良い	良い	良い	
	算出方法・設定根拠など 1, 2, 3類感染症、麻しん、風しんが発生した場合、疫学調査を実施し、感染拡大防止に努める。						
	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	16 肝炎ウイルス検査受検者数	人	目標値	6,626	5,644	5,894	6,302
			実績値	5,644	5,894	6,302	
			達成率	85%	104%	107%	
			評価	普通	良い	良い	
	算出方法・設定根拠など 保健センターおよび実施協力医療機関において実施した肝炎ウイルス検査の受検者数						

### 事業の効率性

区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	肝炎ウイルス検査受検者数	人	5,644	5,894	6,302
	②	上記①にかかる年間経費	千円	36,862	39,124	41,649
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	6,531	6,638	6,609
備考(算出についての説明等)						
区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
18	①	梅毒検査の受検者数(保健所実施分)	人		61	70
	②	上記①にかかる年間経費	千円		23	20
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位		377	286
備考(算出についての説明等)						

### 業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症法に基づく疫学調査実施率は100%であり、患者及び接触者への健康診断・就業制限などを迅速かつ的確に実施できた。市内医療機関からの発生届又は他市からの依頼を受けた場合、調査必要の有無を判断するとともに必要な調査を始める体制ができていた。</li> <li>肝炎ウイルス検査受検者数は前年度に比べ微増した。広報さかい、堺市ホームページ及びがん検診パンフレット等で行っている広報が受検者数の増加につながった可能性があり、今後も引き続き、啓発を強化していく必要がある。</li> <li>その他、感染症の発生情報等を的確に収集し、市民等に提供できたことなどにより、感染拡大を防止することができた。</li> </ul>

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	感染症予防対策	シート番号	011-229
-------	---------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 本事業は、感染症法に基づき、感染症のまん延防止を目的として検査や疫学調査を実施するもので、単に財政上の課題を解決するために廃止することは難しい。 感染症のまん延防止の取り組みは、市民の健康と安全を守ることのみならず、治療にかかる医療費の縮減にもつながる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 感染症のまん延防止には、予防、または早期発見・早期治療が肝要である。特にウイルス性肝炎の場合は、感染したまま放置することで、肝炎、肝硬変、肝がんへと進行するが、感染しているかの確認は検査でしかできない。そのため、検査事業を休止することは発見の遅れを意味する。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 事業費の大部分を占める肝炎ウイルス検査の委託料は、診療報酬を元に積算した大阪府の単価に準拠しており、積算の見直しなどでのコスト縮減は難しい。 同様に検査手数料についても、試薬の価格などに応じてある程度の相場が存在するものであり、単に単価を削ることでの経費削減は難しい。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> 肝炎ウイルス検査や性感染症の検査時には、事前の体調の確認や密を避ける工夫などを行っている。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/> ) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (                      ) 関連事業名 (                      ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 (                      )	<b>理由・説明</b> 肝炎ウイルス検査については、実施できる医療機関をさらに増やすことで市民の利便性を向上させ、検査を受けやすい体制を整えていく。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		<b>所見</b> 感染症拡大防止の重要性に鑑み、引き続き堅実な疫学調査と感染予防対策を進めていく。		